

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所と
国立大学法人東京大学物性研究所との
中性子科学の推進に関する研究協力協定

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構（KEK）物質構造科学研究所（以下「甲」という。）と国立大学法人東京大学物性研究所（ISSP）（以下「乙」という。）は、パルス中性子源や原子炉中性子源を利用した中性子科学を推進するため協議を行い、以下の事項に関し協定を締結する。

1. 甲及び乙は、パルス中性子源や原子炉中性子源を利用した物質構造研究を推進するため、より緊密な協力関係を構築する。
2. 甲及び乙は、パルス中性子源を利用した物質構造研究の発展のために、チョッパー分光器等の開発を共同して推進する。
3. 甲及び乙は、原子炉中性子源を利用した物質構造研究の発展を期して、新しいサイエンスや技術の創成を目指した共同研究を推進する。
4. 甲及び乙の合意に基づき、パルス中性子源や原子炉中性子源を利用した物質構造研究や技術開発を推進するため、「KEK/ISSP 中性子実験共同研究グループ」を立ち上げる。
5. 本協定の有効期間は、締結の日より5年間とする。本協定の締結後、内容を見直す必要が生じた場合には、いずれか一方の申し出に基づき、甲及び乙の合意の下に本協定を改訂することができる。

以上を証するため、本協定を2通作成し、甲及び乙はそれぞれ押印の上、各一通を保管する。

平成18年 1月19日

甲

大学共同利用機関法人

高エネルギー加速器研究機構

物質構造科学研究所長

小間 篤



乙

国立大学法人

東京大学

物性研究所長

上田 和夫

